株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座　口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
公告方法	日本経済新聞

株式に関するお手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

　また当社では、株主さまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、電話やハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしています。

https://www.alfresa.com/ir/

「アルフレッサグループ統合報告書 2023」

アルフレッサ ホールディングス株式会社　コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102　FAX:03-5219-5103

FSC www.fsc.org　ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C005531

alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社

20th anniversary

一つひとつに、ありがとう。

株主のみなさまへ

2024年3月期 第2四半期報告書

(2023年4月～2023年9月)

証券コード　2784

Fresh life for all.

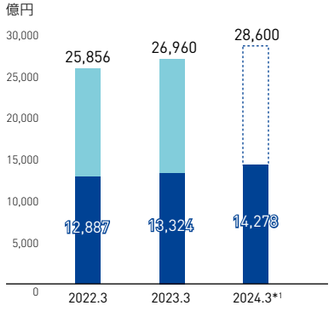
すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresa group

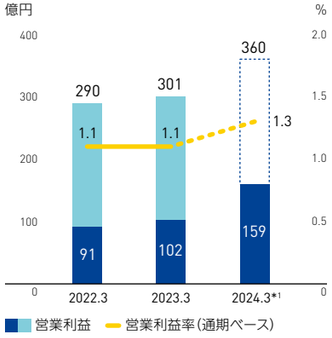
連結財務ハイライト

■第2四半期 ■通期

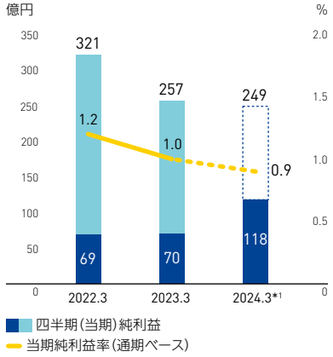
売上高



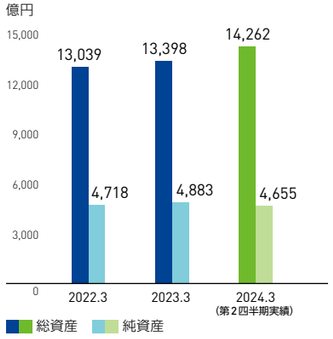
営業利益・営業利益率



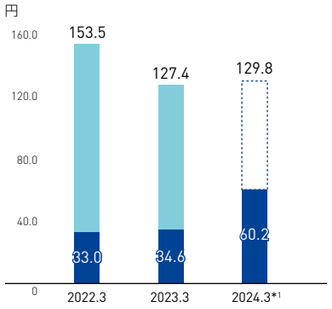
四半期(当期)純利益・当期純利益率*2



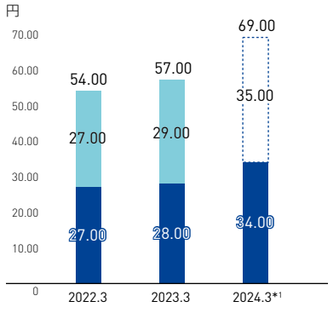
総資産・純資産



1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)



1株当たり配当金



*1 2024.3(通期)は予想値
*2 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(率)

配当について

配当につきましては、連結業績を基準に財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)2.4%以上を基本方針としております。
この方針に基づき、2024年3月期は中間配当金を34円といたしました。また期末配当金は35円を予定しており、年間配当金は合計69円を予定しております。

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

TOP MESSAGE

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

アルフレッサ ホールディングス(株)はお陰様で、2023年9月29日に設立20周年を迎えることができました。2003年、(株)アズウェルと福神(株)が株式移転により医療用医薬品等卸売事業と医薬品等製造事業を柱とするアルフレッサホールディングス(株)を設立し、卸売事業の全国展開を目標に成長してまいりました。その後、セルフメディケーション卸売事業の再編や、製造事業の強化、調剤薬局事業の拡大、SPD事業の完全子会社化、研究用試薬卸売事業への参入等を手掛け、今日のアルフレッサグループに至っています。これまでグループの成長を支えてくださった株主のみなさまに感謝申し上げます。

当社の2024年3月期第2四半期の連結業績は、売上高1兆4,278億円(前年同期比7.2%増)、営業利益159億円(同56.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益118億円(同69.3%増)の増収増益となりました。2024年3月期第2四半期の業績を踏まえ、本年10月31日付で2024年3月期第2四半期および2024年3月期通期の業績予想を売上高、各利益額ともに上方修正いたしました。配当は、期初の予定通り中間配当金34円としております。

医療用医薬品等卸売事業では新型コロナウイルス感染症治療薬をはじめとする市場の伸長、セルフメディケーション卸売事業ではインバウンド需要増に伴う市場回復、医薬品等製造事業では感染症迅速診断キットをはじめとする診断薬の底堅い需要、医療関連事業(調剤薬局事業)では新型コロナウイルス感染症治療薬等による増収への影響がみられました。

「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」の開始から1年半が経過しました。また本年5月には、2033年3月期までの方向性を示した「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を発表し、成長分野である再生医療関連事業やオンライン診療などの普及を見据えたデジタル化を推進するベンチャー企業への投資等を積極的に進めています。引き続きグループ企業が持つ強みを活かして連携することで、トータルサプライチェーンサービスの強化・拡大を通じて、健康寿命の延伸、地域医療への貢献、およびヘルスケア・イノベーションなどの社会価値創造に向けて取り組んでまいります。

本年も統合報告書を発行いたしました。理念体系で「めざす姿」として掲げた「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム®の実現」を目指す活動を、様々な観点から包括的にご紹介しております。本書と併せ、アルフレッサグループのさらなる歩みをステークホルダーのみなさまにご覧いただければ望外の喜びです。

株主のみなさまには今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

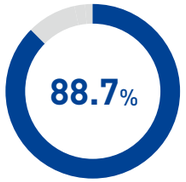
荒川隆治

第2四半期の事業別業績

連結売上高 **1兆4,278億円**（前年同期比7.2%増）　連結営業利益 **159億円**（前年同期比56.4%増）

医療用医薬品等卸売事業

売上高構成比率



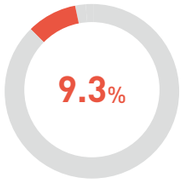
売上高
1兆2,671億円
（前年同期比7.2%増）

営業利益
137億円
（前年同期比72.6%増）

2023年4月に実施された薬価の中間年改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬をはじめとする市場の伸長および一部製薬企業の流通体制変更ならびに販管費率の低減に取り組んだこと等により、売上高1兆2,671億円（前年同期は1兆1,820億円）、営業利益137億円（同79億円）となりました。

セルフメディケーション卸売事業

売上高構成比率



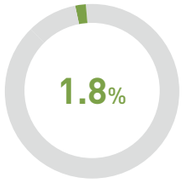
売上高
1,333億円
（前年同期比7.5%増）

営業利益
14億円
（前年同期比26.6%増）

新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後の都市部における人流回復に加えて、訪日外国人増加によるインバウンド需要増に伴う市場回復の影響から増収となったことや、利益・コスト面の管理を徹底したこと等により、売上高1,333億円（前年同期は1,240億円）、営業利益14億円（同11億円）となりました。

医薬品等製造事業

売上高構成比率



売上高
260億円
（前年同期比10.2%増）

営業利益
1億円
（前年同期比77.9%減）

製造販売権を承継した長期収載品や診断薬の売上伸長および受託製造や原薬製造が堅調であったことによる増収の一方で、ALS治療薬開発に係る契約一時金支出等の経費増の影響により、売上高260億円（前年同期は236億円）、営業利益1億円（同8億円）となりました。

医療関連事業

売上高構成比率

売上高
181億円
（前年同期比1.7%増）

営業利益
2億円
（前年同期は営業損失0.1億円）

薬価改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬等の影響による増収および経費抑制等により、売上高181億円（前年同期は178億円）、営業利益2億円（前年同期は営業損失0.1億円）となりました。

事業トピックス　トータルサプライチェーンサービスの強化・拡大

国内外のメーカー（研究開発型企業・バイオベンチャー）への投資や新たなサービスの提供

「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」のグループ経営方針として「新たな価値の創造」を掲げ、当社グループの4つの事業セグメントがその強みを活かして連携することによる「トータルサプライチェーンサービス」の実現に向けて取り組んでいます。また、再生医療等製品の全国流通ネットワークを構築するとともに、創薬ベンチャー企業との連携も進めています。

再生医療関連事業として、再生医療等製品の中間製品（マスターセル）の提供事業と自家※1・他家※2型の細胞加工物の製造事業を担うセルリソーシズ（株）は、2023年8月に遺伝子細胞治療市場における全自動細胞製造システムの世界的トップランナーであるミルテニーバイオテク社とバイオインダストリー・サポート契約を締結しました。これにより、高度に自動化された受託細胞製造サービスを遺伝子細胞治療市場に提供する事業基盤の整備を進め、細胞自動製造システムを中心とする細胞加工「工場」を設置して、高効率で高品質な再生医療等製品の受託製造サービスを提供する体制を構築していきます。

独ミルテニーバイオテク社にて撮影

右から、ミルテニーバイオテク社 代表取締役社長 大槻義人様、Miltenyi Biotec B.V. & Co. KG, Managing Director, Dr. Boris Stoffel様、セルリソーシズ（株） 代表取締役社長 有田孝太郎、当社 代表取締役副社長 福神雄介

再生医療等製品の保管・輸送における取り組みとしては、2023年5月にアルフレッサ（株）が、細胞治療（再生医療）、バイオシミラー、バイオ新薬事業を行うキッズウェル・バイオ（株）と三菱倉庫（株）との3社間で業務委託基本契約を締結しました。キッズウェル・バイオ（株）が開発中のSHED（ヒト乳歯歯髄幹細胞）※3を用いた再生医療等製品の実用化に向け、アルフレッサ（株）と三菱倉庫（株）が持つ保管・輸送における豊富な実績と高度な技術・ノウハウを活用し、再生医療等製品を高品質かつ安定的に保管・輸送できる体制を確立します。

一方、抗体医薬の分野においては2023年5月、アルフレッサ ホールディングス（株）がバイオベンチャー企業である（株）凜研究所に、第三者割当増資による出資を行いました。これにより、（株）凜研究所が保有するパイプラインの一部である抗体医薬品および体外診断薬の国内共同開発に関する独占交渉権、共同開発権を取得しました。また、アルフレッサファーマ（株）では、（株）凜研究所が保有する抗体医薬品および体外診断薬の開発と製造を検討しています。（株）凜研究所が進める抗体医薬・体外診断薬の開発を支援していくとともに、当社グループが目指すトータルサプライチェーンサービスの実現に向けて医薬品等製造事業における開発パイプラインと製造技術を強化していきます。

※1 患者本人の細胞
※2 健康な細胞提供者から採取した細胞
※3 Stem cells from human exfoliated deciduous teeth（ヒト乳歯歯髄幹細胞）：乳歯内部の歯髄組織から採れる幹細胞で、骨や神経などに分化する能力を有する。ドナーが若く細胞年齢も若いため、他の組織由来の幹細胞と比較して増殖能が高い。また、各種成長因子（特に神経栄養因子）の分泌能が高い。

事業トピックス　デジタルツールの活用等によるつなぐ活動

医療従事者の働き方改革と患者様の医薬品アクセス向上

当社グループは、ヘルステックなどのデジタルツールの活用でヘルスケアに携わる方々をつなぐ活動を新たなステージへ進め、医療従事者の働き方改革に貢献しています。また、患者様の医薬品アクセスを向上させるとともに、医療機関の経営効率化など、医療における課題解決を図っています。

2022年より実証実験を進めていた医師向け会員制Webサービス「ドクシル」は、このたび、サービスの本格運用を開始しました。「ドクシル」は実名医師の専門性データや、全国の医療機関データを活用することで、地域の医師や遠隔地の専門医同士をオンラインでつなぐことのできるサービスです。本来知り合うことがなかった医師同士が知り合い、ネットワークを広げてつながりを深めるために、「見つける」「知ってもらう」「つながる・つなげる」「伝える・知らせる」という4つの面から豊富な機能を搭載しています。医師と直接接点を持つアルフレッサグループのMS※の活動と「ドクシル」ならではのアプローチによって医師の課題解決をサポートし、患者様への「最適な医療」につなげ、地域医療に貢献することを目指しています。

アルフレッサ(株)はオンライン診療サービスやデジタルセラピューティクス等の開発・提供に取り組んでいる(株)MICINと資本業務提携契約を締結しました。通院時の診察の受付、会計、薬の受け取りまでをスマートフォンで完了することができる通院専用キャッシュレス決済サービス「クロンスマートパス」や、予約から問診、診察、決済、医薬品の配送手続き(院内処方の場合)までをオンラインで完結させることができるオンライン診療サービス「curon(クロン)」等の普及拡大を推進します。

オンライン診療サービス等を行う上で、患者様の個人宅へ必要な医薬品を安心安全、かつ確実に届ける仕組みが必要です。2021年からアルフレッサ(株)がパイロット運用を続けていたスペシャリティ医薬品における患者宅特殊配送サービス「Home Care Delivery」が、2023年8月に関東、中部、近畿(一部地域を除く)で本格運用を開始しました。このサービスでは、CSLベーリング(株)製の血友病治療薬を必要とする患者様が、その医薬品を持ち帰る際の負担を軽減できるだけではなく、受診後の患者様のご希望に応じてアルフレッサ(株)が配送を開始するため、医療機関における医薬品の在庫管理の負担や廃棄リスクの低減にも貢献できます。

「Home Care Delivery」の流通フロー

※ Marketing Specialist:マーケティング・スペシャリスト。医薬品の卸業における専門知識を持った営業員

事業トピックス　健康寿命の延伸と地域医療への貢献

多職種連携等による地域包括 ケアシステムの下支え

アルフレッサグループのなりたい姿(長期目標)は、すべての人のライフジャーニーにおけるあらゆる局面において、必要な製品・サービスを適宜、適切にお届けすることで、健康増進、未病、予防、診断、治療、重症化予防、介護、および終末期医療等に貢献することです。QOLを向上させつつ、健康寿命の延伸につなげたいと考えており、全国に拠点を持つ企業グループとして、それぞれの地域社会のニーズに応える貢献活動を行っています。

グループ各社は積極的に地域包括ケアシステムに協力するため、自治体と「地域見守り活動」に関する協定を結んでいます。また、高齢化の進展による認知症患者の増加に対し、地域における患者支援体制の構築が大きな課題となる中、当社グループは医療を支える企業として、認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族の良き理解者となる認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

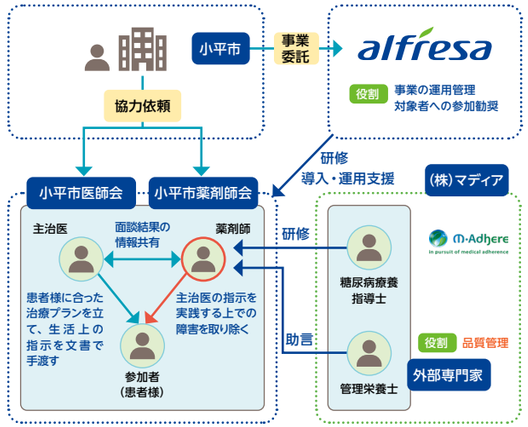
地域見守り協定数	認知症サポーター	キャラバンメイト※
190拠点	6,760名	106名

2023年3月末現在

※ キャラバンメイト:認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務める人のこと

また、多職種連携においては、医療機関・保険薬局との関係性を活かし、地域の医療・介護に携わる人々をつなぐ活動を行っています。たとえばアルフレッサ(株)では、東京都小平市において令和5年度の保健事業である糖尿病性腎症重症化予防事業を受託しました。自治体向けの糖尿病性腎症重症化予防プログラムは、小平市民の健康寿命延伸に向けて地域の医療インフラを有効に活用したモデルであり、これにより糖尿病の治療と並行して、薬局で糖尿病性腎症病期の進行を抑制するための療養指導が行えることが大きな特長です。糖尿病性腎症の患者様のうち、人工透析導入前段階にある方に対して、その生活圏内にある地域薬局の薬剤師が、患者様の通院する医療機関と連携して6ヵ月間の療養指導を実施します。個々の患者様に合った治療プランの立案および主治医の指示の実践へとつなげる支援が可能となっています。

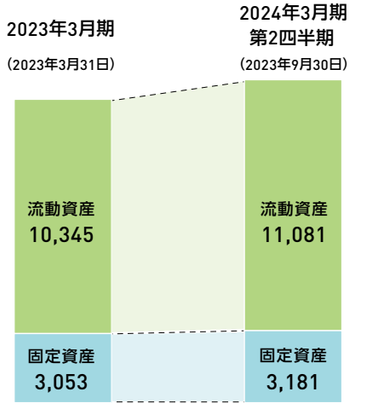
小平市における糖尿病性腎症重症化予防プログラムのイメージ

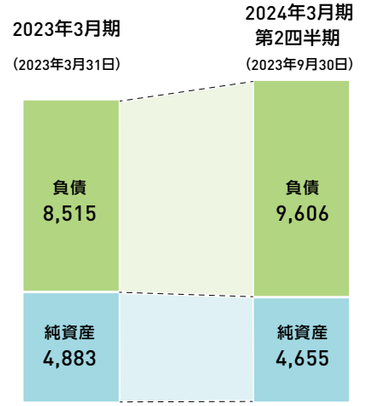


第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

四半期連結貸借対照表

単位:億円





POINT 資産

資産は2023年3月期末と比較して、863億円の増加となりました。

流動資産:+735億円

現金・預金	+260億円
受取手形・売掛金	+449億円

固定資産:+127億円

有形固定資産	+20億円
投資その他の資産	+118億円

POINT 負債・純資産

負債は2023年3月期末と比較して、1,091億円の増加となりました。

流動負債:+1,075億円

支払手形・買掛金	+919億円
短期借入金	+120億円

固定負債:+15億円

純資産は2023年3月期末と比較して、227億円の減少となり、自己資本比率は32.6%となりました。

純資産:△227億円

利益剰余金	+64億円
自己株式	△347億円
その他有価証券評価差額金	+55億円

四半期連結損益計算書および業績予想

単位:百万円

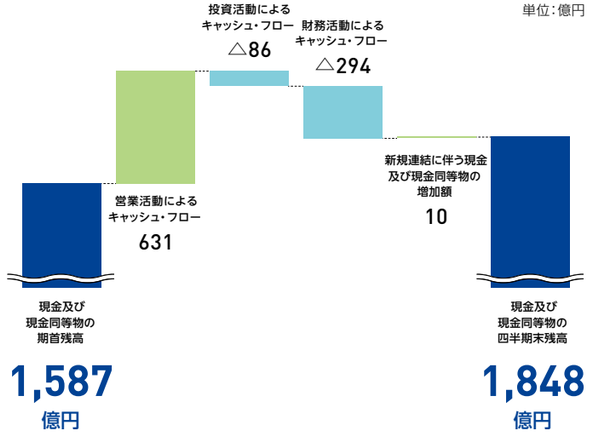
科目	2023年3月期 第2四半期 (2022年4月1日～9月30日)	2024年3月期 第2四半期 (2023年4月1日～9月30日)	増減額	通期予想
売上高	1,332,419	**1,427,856**	95,437	2,860,000
売上総利益	91,039	**99,226**	8,187	203,900
営業利益	10,227	**15,998**	5,771	36,000
経常利益	11,488	**17,280**	5,791	38,000
四半期(当期)純利益*	7,001	**11,850**	4,848	24,900

* 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2024年3月期第2四半期(2023年4月1日～9月30日)

単位:億円



POINT キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物は、第2四半期累計期間において260億円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー:631億円の収入

税金等調整前四半期純利益	+173億円
減価償却費	+64億円
売上債権の増加	△432億円
仕入債務の増加	+919億円

投資活動によるキャッシュ・フロー:86億円の支出

有形固定資産の取得による支出	△60億円
投資有価証券の取得による支出	△26億円

財務活動によるキャッシュ・フロー:294億円の支出

短期借入金の増加	+120億円
自己株式の取得による支出	△347億円
配当金の支払額	△58億円

株式情報（2023年9月30日現在）

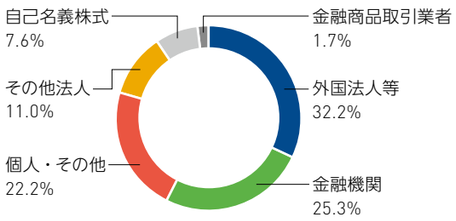
株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	202,840,000株
株主数	14,203名

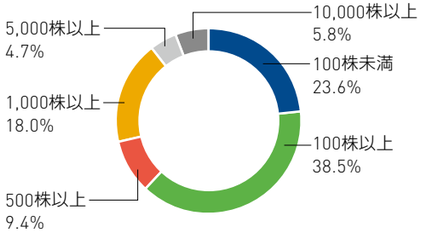
大株主

順位	氏名または名称	所有株式数（千株）	議決権比率（%）
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	27,872	14.9
2	アルフレッサ ホールディングス株式会社	15,420	-
3	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	10,669	5.7
4	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	9,716	5.2
5	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,756	3.1
6	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,802	2.6
7	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	4,298	2.3
8	みずほ信託銀行株式会社　退職給付信託　第一三共口 再信託受託者　株式会社日本カストディ銀行	3,908	2.1
9	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,377	1.8
10	第一三共株式会社	3,202	1.7

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



IRメール配信サービスのご案内

IRニュースのメール配信サービスを行っています。決算短信などの適時開示資料、株主総会情報、統合報告書や報告書「株主のみなさまへ」などのIR資料が当社ホームページに掲載された際、ご登録いただいたメールアドレスにお知らせしています。ぜひご利用ください。

https://www.alfresa.com/ir/mail/

会社概要（2023年9月30日現在）

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	15,449名（連結） ※パート・派遣社員数（年間平均人数2,841名）を含む
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

取締役および監査役

代表取締役社長	荒川　隆治
代表取締役副社長	岸田　誠一
代表取締役副社長	福神　雄介
取締役常務執行役員	大橋　茂樹
取締役常務執行役員	田中　敏樹
取締役	勝木　尚
取締役	島田　浩一
取締役（社外取締役）	原　大
取締役（社外取締役）	木下　学
取締役（社外取締役）	竹内　淑恵
取締役（社外取締役）	國政　貴美子
常勤監査役	尾崎　正和
常勤監査役	上田　裕治
監査役（社外監査役）	加藤　善孝
監査役（社外監査役）	伊東　卓
監査役（社外監査役）	木﨑　博

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉薬
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社
- エーエル プラス株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社

医療関連事業

- アポクリート株式会社

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社